

**第29回  
名古屋高速道路公社  
料金問題調査会**

---

**平成17年4月25日**

# 目 次

**名古屋高速道路公社の経営状況**

**料金制度等の現状**

**回数券の問題と対応**

**料金施策の検討課題等**

**新たな料金施策の考え方**

# 名古屋高速道路公社の経営状況

## (1) 利用交通量等

### 一宮線開通後の交通量について

**一宮線実績交通量は約18,800台/日**  
**初年度計画交通量17,000台/日の約1.1倍**

一宮線開通後の交通量(2/12~3/31)

	名古屋線	尾北線		合計
		小牧線	一宮線	
供用前 (H17.2.4~10)	181,300	55,800	—	237,100
供用後 (H17.2.12~3.31)	188,300	51,600	18,800	258,700
増減	7,000	4,200	18,800	21,600

小牧線は一宮線開通及び空港移転により約7千台減少の予測に対し、実績約4千台減少  
中部国際空港等の影響で大高線(知多半島連絡路)が約3千台/日増加。

〔 一宮線供用:平成17年2月11日  
中部国際空港開港:平成17年2月17日 〕

# 一宮線の整備効果について(実績)

## 一宮市内 清洲JCT間の 所要時間が10分短縮

一宮市内～清洲JCT間の所要時間が18分  
8分(朝ピーク時23分 9分)に短縮  
一般道路利用の場合も、18分 16分  
(朝ピーク時23分 19分)に短縮

## 国道22号の交通量が 約4千台減少

一宮線へ交通量が転換した結果、国道22号  
中之郷南交差点(西春日井郡西春日町)交通  
量が約4千台減少

調査日  
開通前:平成16年10月27日(水)  
開通後:平成17年3月2日(火)

	開通前 (一般道利用)	開通後 (高速利用)	開通後 (一般道利用)
(昼間)	18分	8分	16分
(朝ピーク時)	23分	9分	19分
		10分短縮	2分短縮
		14分短縮	4分短縮

一般道利用:約9.3km、  
高速利用:高速約6.4km+一般道2.9km



# H16年度交通量

(料金認可、整備計画関連交通量との比較)

**H16年度実績交通量は、ほぼ計画通り**

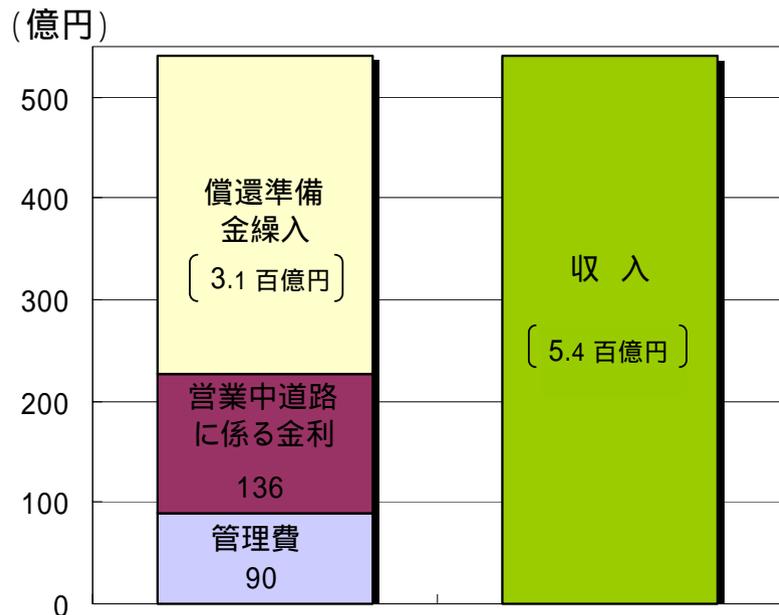
	H16年度平均 日交通量 (台/日)	料金認可・整備計画 H16年間平均 日交通量 (台/日)	比 率 /
名古屋線	176,700	177,300	0.997
小牧線	53,500	55,500	0.964
一宮線	(2,500)	(1,400)	1.786
合 計	232,700	234,200	0.994
換算交通量	202,100	203,000	0.996

- ・ 一宮線は年平均に換算(計画時は3月の1ヶ月間を供用として計算)
- ・ 一宮線料金認可(H17.2.1認可)
- ・ 第9回整備計画変更(H17.2.9許可)

## (2) 収支状況等

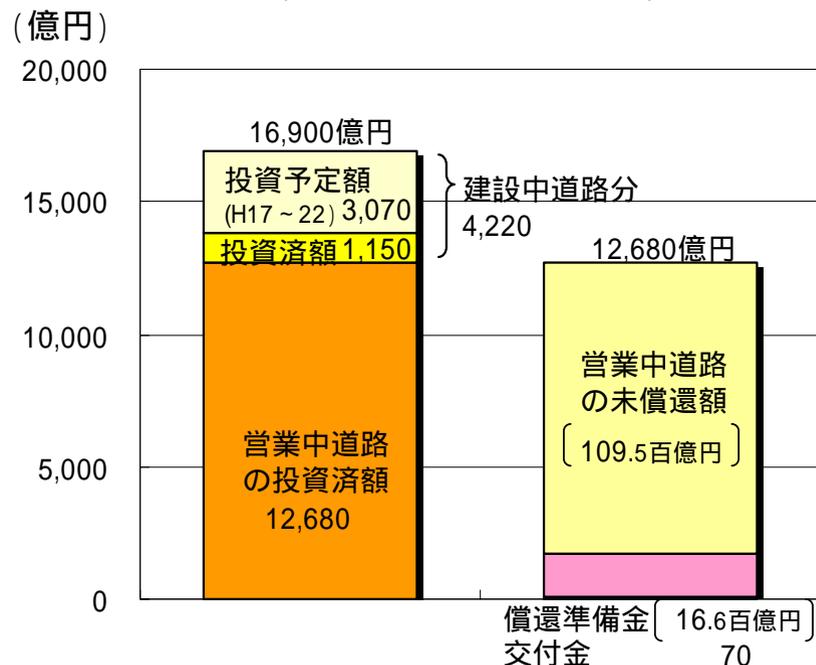
### 平成16年度収支状況図(見込み)

単年度収支状況  
(平成16年度見込み)



注) 収入に消費税還付金を含む  
(収入金額未確定)

償還状況  
(平成16年度末見込み)



償還準備金 / (営業中道路の投資済額 - 交付金)

= 13.2% **6**

# 料金制度の現状

## (1) 平成16年度 料金認可概要 (平成17年2月1日 国土交通大臣認可)

項目	内容
一宮線の通行料金 (H17.2.11開通)	普通車350円 大型車700円 回数券は小牧線(尾北料金圏)と共通
ETC迂回乗り継ぎ (吹上東出入口を利用) (H17.2.11~)	吹上東出入口を利用した乗継施策 ETC無線通行車両に限定 対象車両が吹上東出口から出て、15分以内に吹上東入口へ 入った場合、 <b>新たな料金は不要。</b>
名古屋高速ETC特別割引 (期間限定) (H17.2.11~)	ETCクレジットカードの <b>前納割引サービス利用者</b> を対象に、 期間限定で、名古屋高速道路通行分に対して <b>5.8%</b> の金額を 残高に積み増し。(前払割引と併せて、 <b>最大割引率18.8%</b> ) 利用頻度に応じた割引制度導入(平成17年度上半期中)まで の <b>期間限定。</b>
路線バス割引 (H17.2.11~)	路線バス割引を <b>ETCを利用する路線バス</b> にも適用。 (割引率約39%) <b>29人乗り以下</b> のETCを利用する路線バス(普通車料金)にも 同じ割引を適用。
2005年日本国際博覧会 支援施策(バス割引) (H17.3.25~9.25)	博覧会会場へのシャトルバスについて、路線バス並の割引を 適用。(割引率約39%) 博覧会駐車場を利用するバスについて、割引通行券を販売。 ( <b>名古屋線1,800円/2回券、尾北線900円/2回券</b> )

# 名古屋高速ETC特別割引(期間限定)

## 割引対象

ETC前払割引サービス利用者

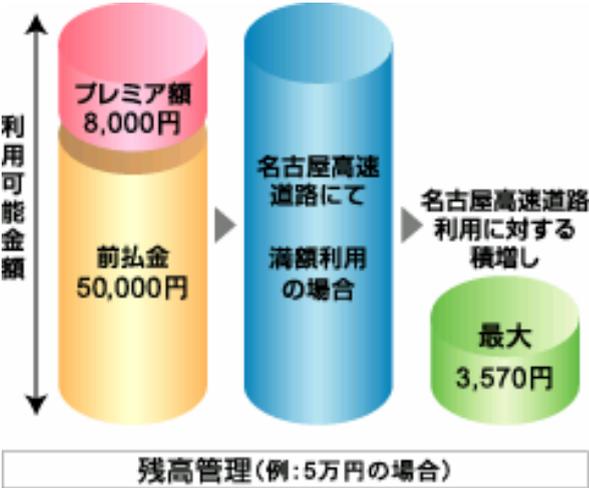
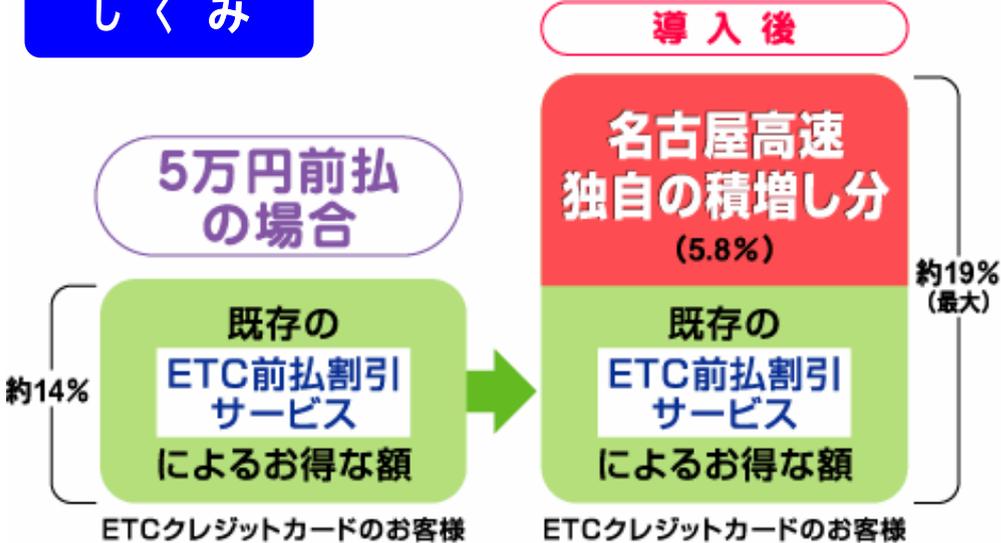
## 割引期間

H17.2.11 ~ 新たな割引制度の導入時期まで

## 割引手法

利用の翌月に、通行料金の5.8%を「ETC前払割引サービス」残高に積増し

## しくみ



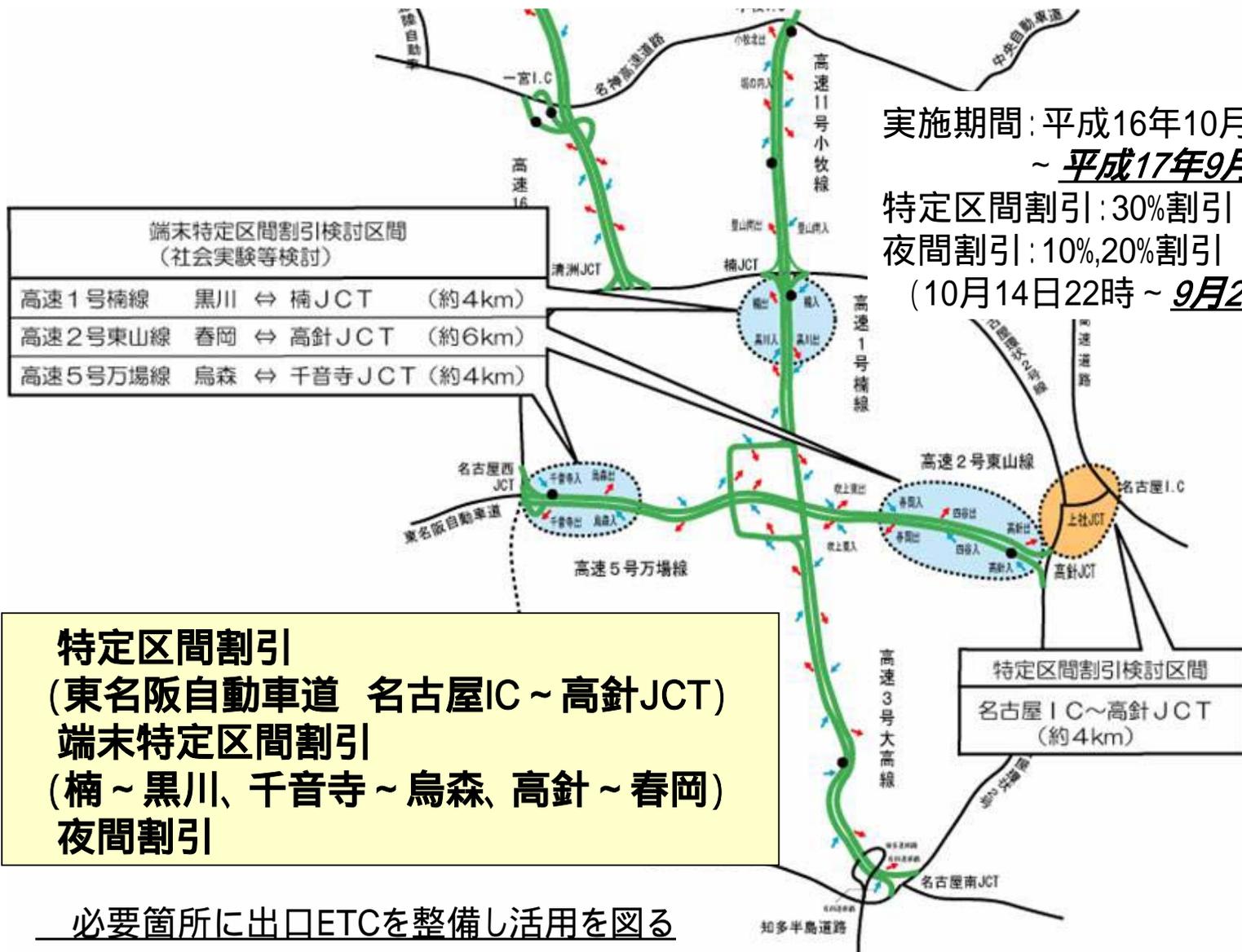
ETC(無線)利用者のうち、34%(ETCクレジットカード利用者のうち約55%)が前納割引利用  
(平成17年3月)

回数券並みの割引率(約19%)



利用実績 328台 (H17.3.25 ~ 4.15 )  
日平均 15台 / 日

## (2) ETC利用による社会実験(継続実施中)



実施期間:平成16年10月15日  
 ~ 平成17年9月25日  
 特定区間割引:30%割引  
 夜間割引:10%,20%割引  
 (10月14日22時 ~ 9月26日6時)

端末特定区間割引検討区間 (社会実験等検討)		
高速1号楠線	黒川 ⇄ 楠JCT	(約4km)
高速2号東山線	春岡 ⇄ 高針JCT	(約6km)
高速5号万場線	烏森 ⇄ 千音寺JCT	(約4km)

**特定区間割引**  
 (東名阪自動車道 名古屋IC ~ 高針JCT)  
**端末特定区間割引**  
 (楠 ~ 黒川、千音寺 ~ 烏森、高針 ~ 春岡)  
**夜間割引**

特定区間割引検討区間  
 名古屋IC ~ 高針JCT  
 (約4km)

必要箇所には出口ETCを整備し活用を図る

# 回数券の問題と対応

## (1) 偽造回数券の利用状況について

偽造回数通行券は、平成16年内は19枚/日程度使用。  
平成17年には10枚/日程度となったものの、根絶には至っていない。  
平成17年1月6日に、偽造回数券をチケット販売店に持込み換金した被疑者が逮捕。  
HPによる一般周知、金券ショップ組合への鑑定強化依頼、料金所でのチェック強化など、防止対策を実施中。

### 偽造回数券利用実態の推移

年 月		確認枚数	日平均枚数		合 計
H 16	10月	60枚	9枚	19枚	合計2,198枚  14枚/日
	11月	751枚	25枚		
	12月	491枚	16枚		
H 17	1月	291枚	10枚	10枚	
	2月	331枚	12枚		
	3月	274枚	8枚		

### 防犯対策実施状況

- ・公社HPに真券及び偽造券の写真を掲載し、相違点の説明を記載
- ・金券ショップ組合中部地区本部に情報提供し、買取時の鑑定強化を要請
- ・収受員による料金所での偽造チェック
- ・料金所人員を増やしチェック体制を強化。  
(2005.01.12より実施)
- ・新デザイン回数券の導入

## (2)回数通行券の取扱いについて

H17.2.4記者発表資料抜粋

多様な料金施策の実施に向けたETCの利用促進、偽造回数券の防止のため、回数通行券の廃止について検討を進める。

回数通行券については、所定の手続きを経た上で、平成17年度上半期中を目途にETCによる利用頻度に応じた割引制度を導入し、その後、全ての廃止を目指す。

# 料金施策の検討課題等

## (1) 料金施策の方向

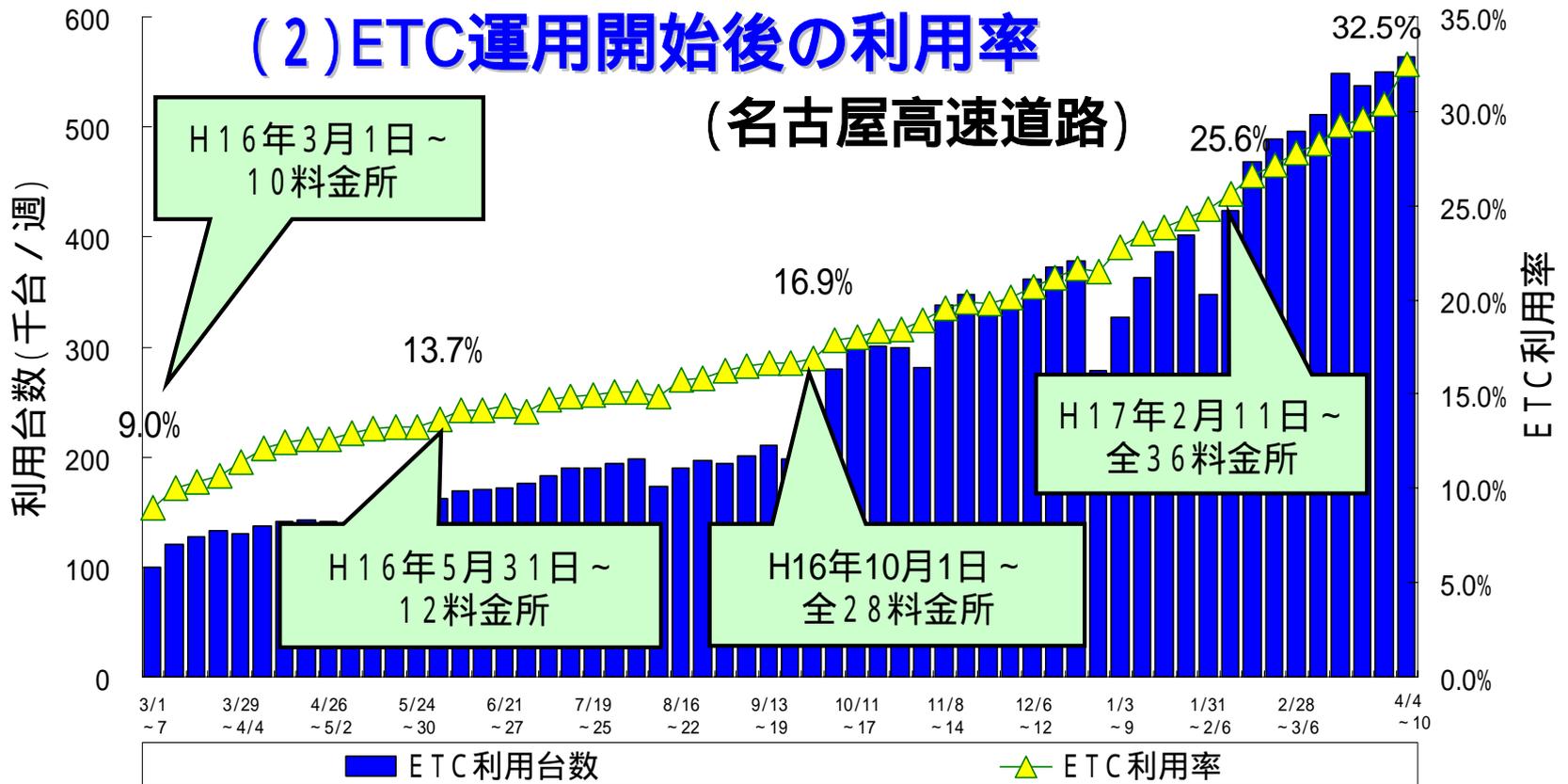
ETCを活用して多様で弾力的な料金施策を実施する事が適當。社会実験も踏まえて各種料金施策の具体的検討を進める。

### 料金施策メニュー(案)

目的等	想定される料金施策のメニュー(案)
利用促進 施設有効活用 渋滞対策 環境対策 負担の公平性 (距離の要素を導入)	<ul style="list-style-type: none"><li>・マイレージ割引等</li><li>・端末区間割引等</li><li>・乗継割引</li><li>・夜間割引等の時間帯割引</li></ul>

## (2) ETC運用開始後の利用率

(名古屋高速道路)



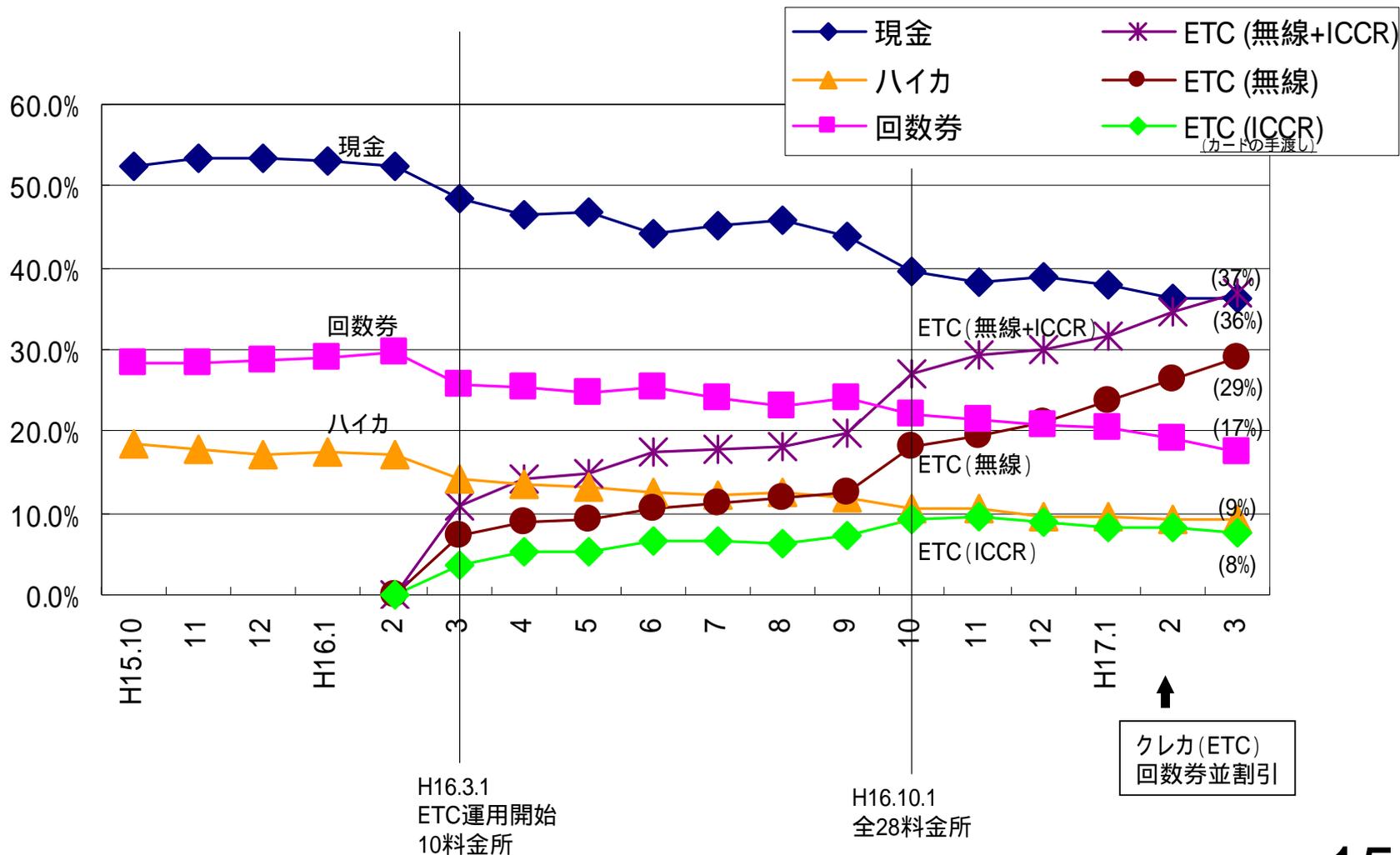
### 料金支払い内訳(4月4日(月)~4月10日(日))

	利用形態					計
	ETC	ICCR	回数券	ハイカ	現金等	
利用台数	564,229	59,404	290,737	169,791	651,151	1,735,312
利用率	32.5%	3.4%	16.8%	9.8%	37.5%	100.0%

ETC : ETCカードを車載器に挿入し、無線通信により通行した車

ICCR : ETCカードを料金所係員に手渡しすることにより通行した車

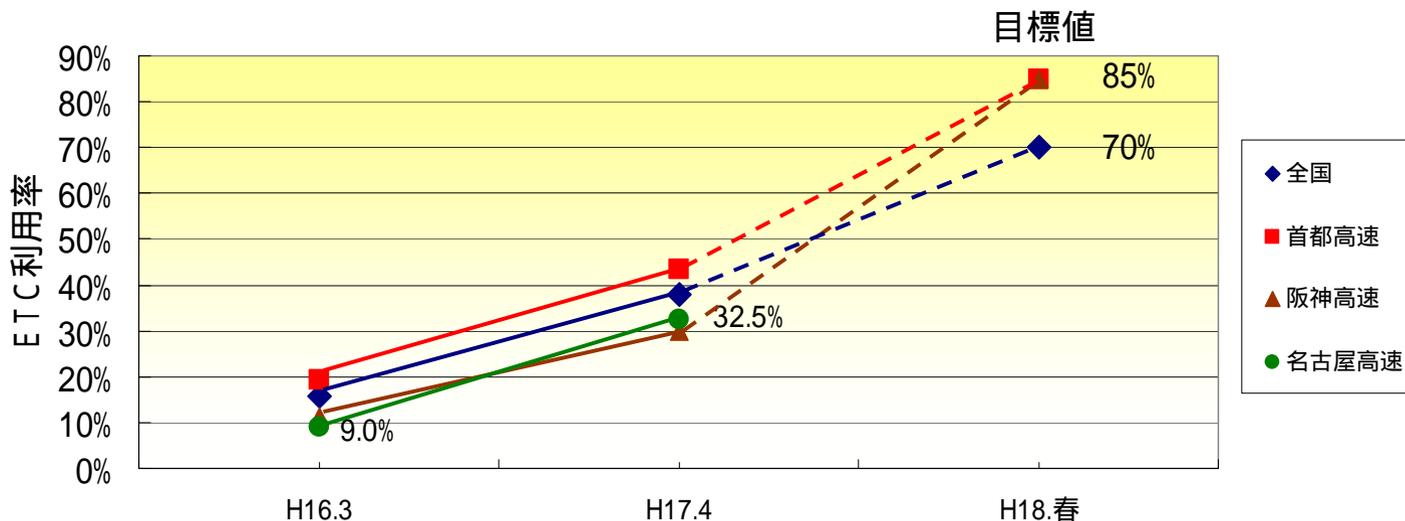
# 料金支払い種別の変動(名古屋高速道路)



### (3) ETC利用率の推移

ETC利用率(平成17年4月8日 - 4月14日平均)

	日本道路公団	首都高速道路公団	阪神高速道路公団	本四連絡橋公団	全 国
ETC利用台数	約 1,973,000 台/日	約 480,100 台/日	約 248,800 台/日	約 37,100 台/日	約 2,739,000 台/日
(通行総台数)	約 5,177,100 台/日	約 1,109,100 台/日	約 831,900 台/日	約 86,000 台/日	約 7,204,200 台/日
ETC利用率(%)	38.1%	43.3%	29.9%	43.1%	38.0%



注) H18年春の全国、首都高速、  
阪神高速は目標値

# 新たな料金施策の考え方

## (1) ETCの役割整理等

料金所渋滞の緩和

ノンストップ料金徴収、現金等不要

多様な料金制

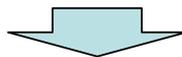
- ・時間帯等
- ・利用距離等
- ・利用頻度等

に  
} 応じた料金制度

- ・渋滞緩和、環境改善
- ・不公平の是正

### 【 課 題 】

ETCを付けたのに割引をしてくれないとの誤解  
回数券の替わりの割引をETCで行って欲しいとの声



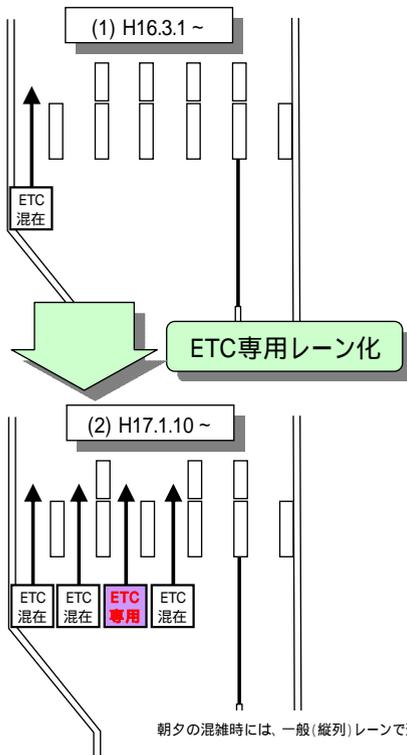
多様な料金制度への理解を求めることが必要

# ETC整備による料金所容量アップ

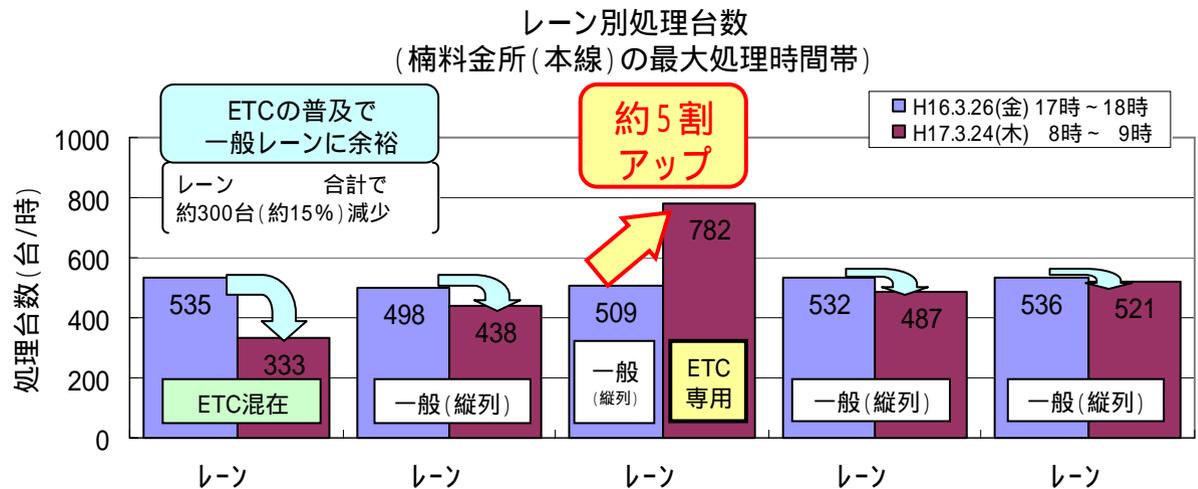
一般レーンをETC専用レーンとすることで、1レーン当たりの処理容量が**約5割増加**。  
ETCの普及により、回数券利用が減少しても一般レーンに余裕が出ている。

## 楠本線料金所

### ETC設置状況



### レーン別運用実績

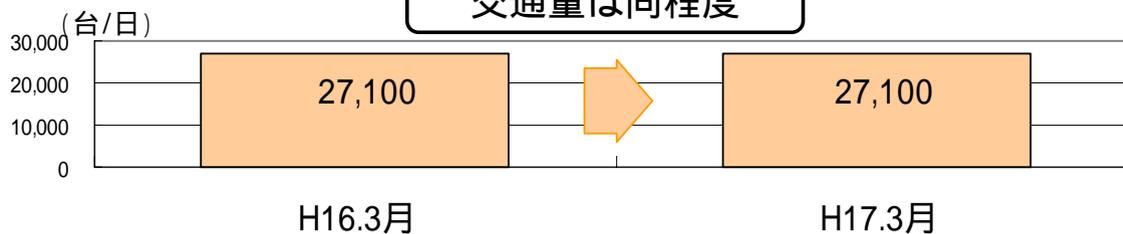


	適用データ	総処理台数	ETC利用率	回数券利用率
H16.3月	H16年3月26日(金) 17:00~18:00	2,610台/時	9.8%	23.3%
H17.3月	H17年3月24日(木) 8:00~9:00	2,561台/時	31.3%	15.3%

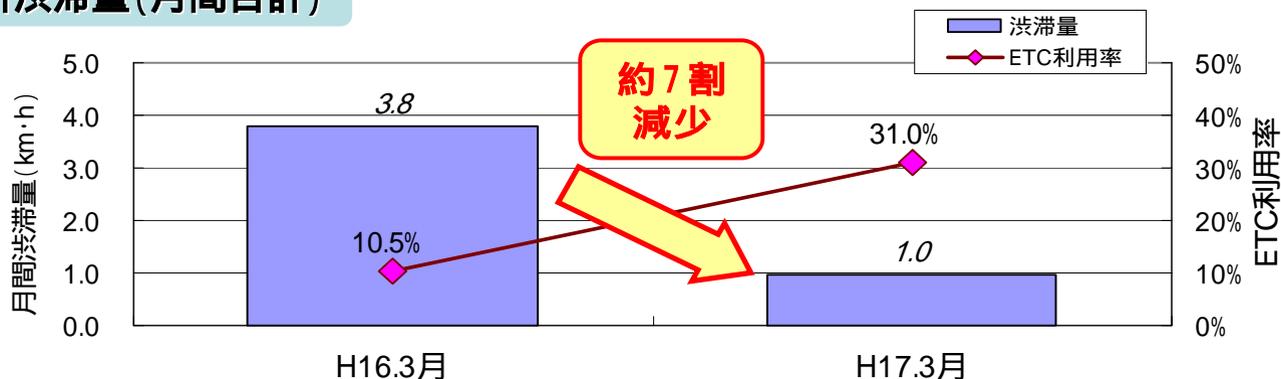
# ETC整備による料金所混雑緩和効果

料金所渋滞量が**約7割減少**。(楠本線料金所の例)

## 日平均交通量



## 料金所渋滞量(月間合計)



- ・ 渋滞量 (km·h) : 渋滞長 (km) × 渋滞継続時間 (h) … 各月の合計値
- ・ ETC利用率 : 各月の平均値

# 割引の移行イメージ

割引総額は同等以上

(割引はETCに限定)

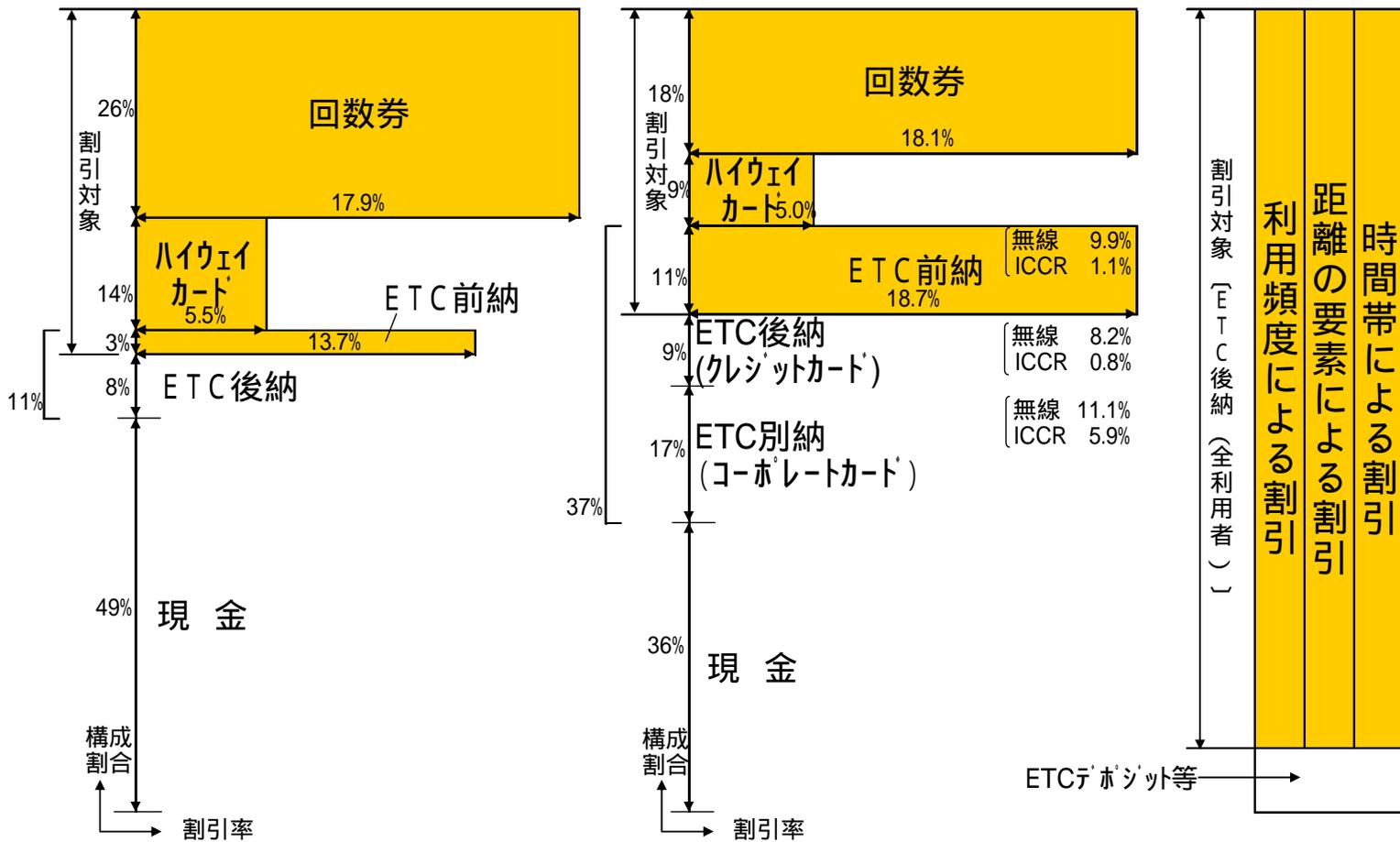
前払者に対する割引

後納(全利用者)に対する割引

H16.3

H17.3

将来

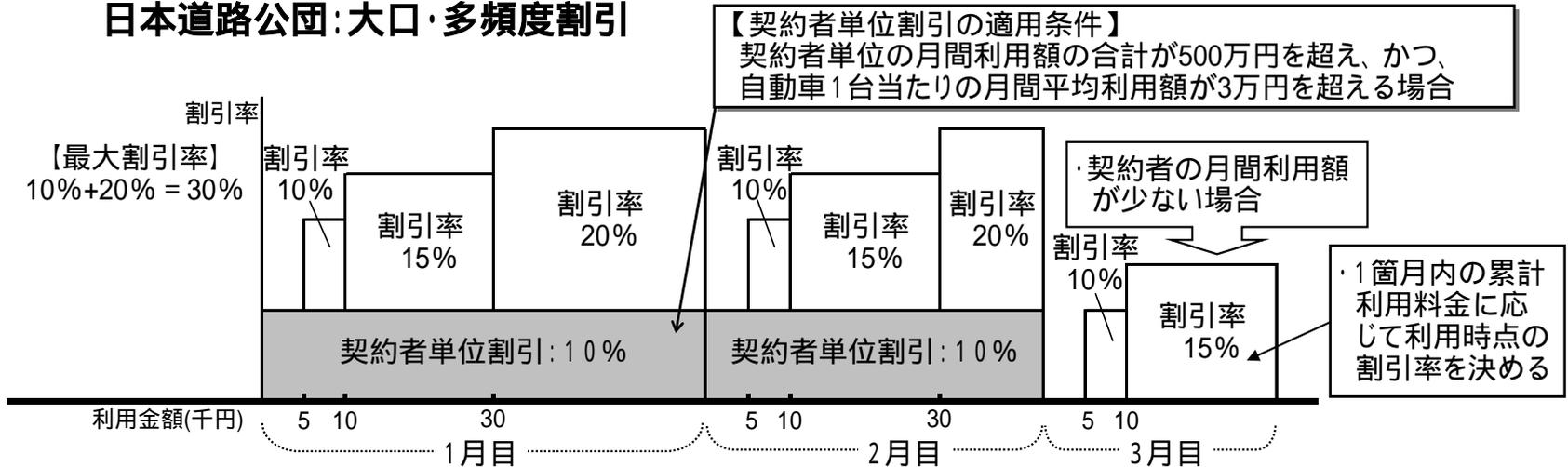


H15年度料金割引約36億円(割引前収入の約7%) (障害者割引、路線バス割引含む)

# コーポレート割引（案）のイメージ

（4/1より別納カードがコーポレートカードに移行）

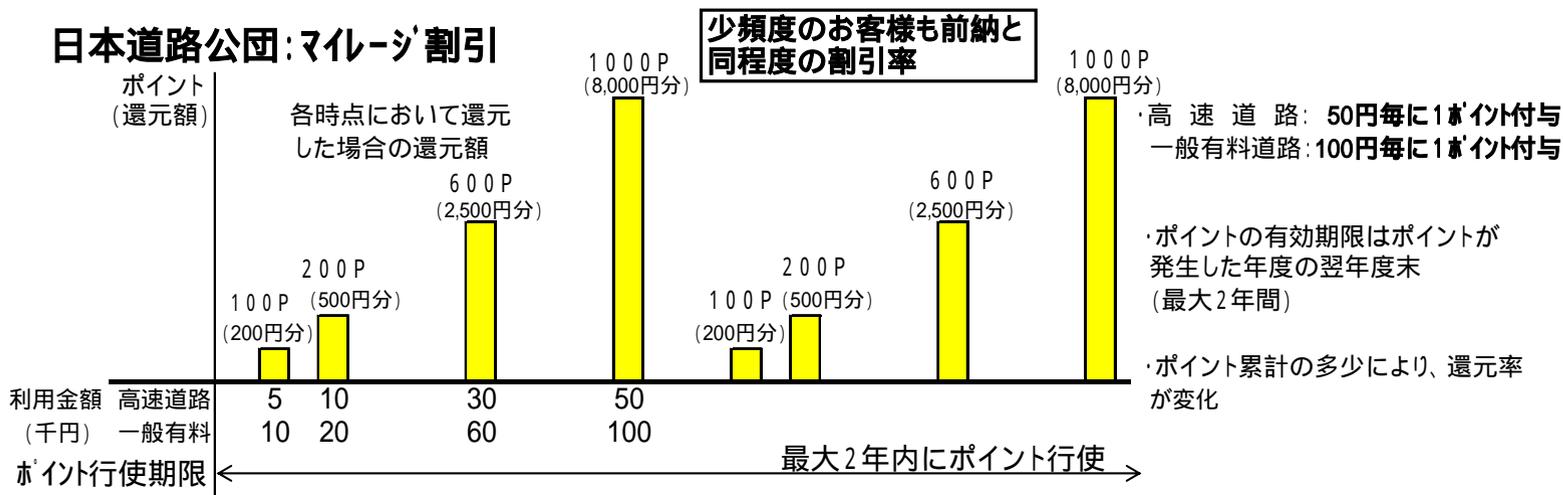
## 日本道路公団：大口・多頻度割引



## 名古屋高速道路公社[割引イメージ]

- ・公団と同様に月毎に利用額に応じて割引率が変動
- ・1箇月内の累計利用料金に応じて利用時点の割引率を決める  
（月内の途中に公団に利用料金請求額を伝える必要があるため）
- ・契約者単位の割引は行わない
- ・割引率は公団とは別に独自に設定（償還計画の範囲内）

# 一般マイレージ割引（案）のイメージ



## 名古屋高速道路公社 [割引イメージ]

- ・利用金額に応じて、一定の基本ポイント(還元率は一定)付与を検討 …… 少頻度利用者にも割引
- ・利用頻度に応じて、月毎に積み上がるボーナスポイント付与を検討 …… 多頻度利用者にも割引
- ・割引率は公団とは別に独自に設定(償還計画の範囲内)
  - ・ポイントの有効期限はポイントが発生した年度の翌年度末(最大2年間)
  - ・還元率が月単位では積立ポイントの多少に関わらず一定となる案であり、自動還元の方法も検討